

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年9月10日
【四半期会計期間】	第91期第1四半期（自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）
【会社名】	ポーソー油脂株式会社
【英訳名】	BOSO OIL&FAT CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 川崎 薫
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋本石町四丁目5番12号
【電話番号】	03 - 3241 - 4226（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長 古川 勝彦
【最寄りの連絡場所】	千葉県船橋市日の出2丁目17番1号
【電話番号】	047 - 433 - 5551
【事務連絡者氏名】	経理部長 古川 勝彦
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

2018年8月9日に提出いたしました第91期第1四半期（自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）に係る四半期報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表については、東陽監査法人より四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

## 2【訂正事項】

### 第一部 企業情報

#### 第1 企業の概況

##### 1 主要な経営指標等の推移

#### 第2 事業の状況

##### 2 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

##### (2) 財政状態の分析

#### 第4 経理の状況

##### 1 四半期連結財務諸表

##### (1) 四半期連結貸借対照表

##### 注記事項

##### (四半期連結貸借対照表関係)

#### 四半期レビュー報告書

## 3【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_\_\_を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第90期 第1四半期連結 累計期間	第91期 第1四半期連結 累計期間	第90期
会計期間	自平成29年 4月1日 至平成29年 6月30日	自平成30年 4月1日 至平成30年 6月30日	自平成29年 4月1日 至平成30年 3月31日
売上高 (千円)	3,834,476	3,034,831	13,264,045
経常損失 ( ) (千円)	37,972	64,502	588,053
親会社株主に帰属する四半期(当期)純損失 ( ) (千円)	33,985	76,714	981,986
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	20,739	62,577	972,297
純資産額 (千円)	5,822,399	4,691,375	4,828,001
総資産額 (千円)	12,000,201	10,140,674	10,106,976
1株当たり四半期(当期)純損失金額 ( ) (円)	22.57	51.80	659.67
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	48.50	46.23	47.74

(注)(省略)

(訂正後)

回次	第90期 第1四半期連結 累計期間	第91期 第1四半期連結 累計期間	第90期
会計期間	自平成29年 4月1日 至平成29年 6月30日	自平成30年 4月1日 至平成30年 6月30日	自平成29年 4月1日 至平成30年 3月31日
売上高 (千円)	3,834,476	3,034,831	13,264,045
経常損失 ( ) (千円)	37,972	64,502	588,053
親会社株主に帰属する四半期(当期)純損失 ( ) (千円)	33,985	76,714	981,986
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	20,739	62,577	972,297
純資産額 (千円)	5,822,399	4,691,375	4,828,001
総資産額 (千円)	12,000,201	10,672,278	10,106,976
1株当たり四半期(当期)純損失金額 ( ) (円)	22.57	51.80	659.67
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	48.50	43.93	47.74

(注)(省略)

## 第2【事業の状況】

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (2) 財政状態の分析

(訂正前)

(前略)

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は53億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億57百万円減少いたしました。主な減少の要因は、現金及び預金が5億83百万円減少したことによるものであります。固定資産は48億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億91百万円増加いたしました。主な増加の要因は、有形固定資産が3億71百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、101億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ33百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は34億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億36百万円増加いたしました。主な増加の要因は、未払賞与及び未払配当金が増加したことによるものであります。固定負債は20億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ33百万円増加いたしました。主な増加の要因は、リース債務が1億11百万円増加したことによるものであり、主な減少の要因は長期借入金が86百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、54億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億70百万円増加いたしました。

(後略)

(訂正後)

(前略)

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は53億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億57百万円減少いたしました。主な減少の要因は、現金及び預金が5億83百万円減少したことによるものであります。固定資産は53億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億23百万円増加いたしました。主な増加の要因は、有形固定資産が9億2百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、106億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億65百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は34億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億42百万円増加いたしました。主な増加の要因は、未払賞与及び未払配当金が増加したことによるものであります。固定負債は25億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億59百万円増加いたしました。主な増加の要因は、リース債務が6億37百万円増加したことによるものであり、主な減少の要因は長期借入金86百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、59億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億1百万円増加いたしました。

(後略)

## 第4【経理の状況】

### 2. 監査証明について

(訂正前)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成30年4月1日から平成30年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成30年4月1日から平成30年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、東陽監査法人による四半期レビューを受けております。

(訂正後)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成30年4月1日から平成30年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成30年4月1日から平成30年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、東陽監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の四半期連結財務表について、東陽監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,028,292	1,444,759
受取手形及び売掛金	3 2,531,632	3 2,621,149
商品及び製品	348,261	436,106
仕掛品	163,781	151,128
原材料及び貯蔵品	288,631	305,357
その他	313,157	357,419
貸倒引当金	2,844	2,948
流動資産合計	5,670,912	5,312,974
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	409,574	409,208
機械装置及び運搬具(純額)	743,867	722,354
土地	1,970,148	1,973,993
その他(純額)	22,300	145,214
建設仮勘定	407,642	673,815
有形固定資産合計	3,553,533	3,924,587
無形固定資産	33,816	33,402
投資その他の資産		
投資有価証券	438,166	457,617
繰延税金資産	14,131	15,005
その他	403,863	397,088
貸倒引当金	7,448	-
投資その他の資産合計	848,713	869,710
固定資産合計	4,436,064	4,827,700
資産合計	10,106,976	10,140,674

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3 1,502,136	3 1,555,779
短期借入金	1,271,860	1,244,770
未払法人税等	7,842	13,941
賞与引当金	95,318	45,031
その他	402,473	557,082
流動負債合計	3,279,631	3,416,605
固定負債		
長期借入金	750,120	663,800
退職給付に係る負債	589,008	593,992
役員退職慰労引当金	9,874	9,694
繰延税金負債	637,260	640,694
資産除去債務	3,355	3,364
リース債務	9,725	121,148
固定負債合計	1,999,343	2,032,694
負債合計	5,278,975	5,449,299
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,351,300	1,351,300
資本剰余金	814,596	814,596
利益剰余金	2,743,946	2,593,182
自己株式	196,800	196,800
株主資本合計	4,713,042	4,562,279
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	112,495	125,955
その他の包括利益累計額合計	112,495	125,955
非支配株主持分	2,463	3,141
純資産合計	4,828,001	4,691,375
負債純資産合計	10,106,976	10,140,674

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,028,292	1,444,759
受取手形及び売掛金	3 2,531,632	3 2,621,149
商品及び製品	348,261	436,106
仕掛品	163,781	151,128
原材料及び貯蔵品	288,631	305,357
その他	313,157	357,419
貸倒引当金	2,844	2,948
流動資産合計	5,670,912	5,312,974
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	409,574	409,208
機械装置及び運搬具(純額)	743,867	722,354
土地	1,970,148	1,973,993
その他(純額)	22,300	676,818
建設仮勘定	407,642	673,815
有形固定資産合計	3,553,533	4,456,191
無形固定資産		
投資その他の資産	33,816	33,402
投資有価証券	438,166	457,617
繰延税金資産	14,131	15,005
その他	403,863	397,088
貸倒引当金	7,448	-
投資その他の資産合計	848,713	869,710
固定資産合計	4,436,064	5,359,304
資産合計	10,106,976	10,672,278



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3 1,502,136	3 1,555,779
短期借入金	1,271,860	1,244,770
未払法人税等	7,842	13,941
賞与引当金	95,318	45,031
その他	402,473	562,428
流動負債合計	3,279,631	3,421,951
固定負債		
長期借入金	750,120	663,800
退職給付に係る負債	589,008	593,992
役員退職慰労引当金	9,874	9,694
繰延税金負債	637,260	640,694
資産除去債務	3,355	3,364
リース債務	9,725	647,406
固定負債合計	1,999,343	2,558,952
負債合計	5,278,975	5,980,903
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,351,300	1,351,300
資本剰余金	814,596	814,596
利益剰余金	2,743,946	2,593,182
自己株式	196,800	196,800
株主資本合計	4,713,042	4,562,279
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	112,495	125,955
その他の包括利益累計額合計	112,495	125,955
非支配株主持分	2,463	3,141
純資産合計	4,828,001	4,691,375
負債純資産合計	10,106,976	10,672,278

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

3. 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当四半期連結会計期間末日満期手形の金額は、次のとおりであります。

(訂正前)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
受取手形	23,474千円	6,014千円
支払手形	11,340	13,144
割引手形	32,183	<u>70,261</u>

(訂正後)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
受取手形	23,474千円	6,014千円
支払手形	11,340	13,144
割引手形	32,183	<u>41,226</u>

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年9月6日

ポーソー油脂株式会社

取締役会 御中

東陽監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 田島 幹也 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 清水谷 修 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているポーソー油脂株式会社の2018年4月1日から2019年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2018年4月1日から2018年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2018年4月1日から2018年6月30日まで）に係る訂正後の四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ポーソー油脂株式会社及び連結子会社の2018年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して2018年8月7日に四半期レビュー報告書を提出した。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。